

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 風連多寄地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（各市「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

士別市 天塩岳をはじめとする緑の山々に囲まれ、天塩川本支流の豊富な水と肥沃な大地などの豊かな自然環境に恵まれている。

名寄市 市内を流れる河川と三日月湖やため池では多種にわたって魚類が生息し、渡り鳥が飛来も見られる。また、「緑のマスタープラン」に基づき、生活環境の保全、景観構成の観点から緑の系統的な配置を進めている。

【課題】

士別市 農業農村整備事業等の実施にあたっては、動植物等の生息・生育環境への配慮などの自然環境を守ることが必要である。

名寄市 多様な生物の生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と市街地周辺に広がる農地の保全を推進する必要がある。

《環境保全の基本的考え方》（各市「田園環境整備マスタープラン」より）

士別市 恵まれた自然という財産を保全し、将来にしっかりと継承していく水とみどりの里づくりを進める。

農業用排水路においては、地域の実情を踏まえ、自然生態系や緑豊かな田園景観に配慮した整備に努める。

名寄市 排水路では、緑豊かな自然と森林の公益的な機能を活用する近自然型工法など自然に優しい整備を推進する。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道北部中央の士別市及び名寄市に位置する農業地帯である。地区の南東に位置する天塩岳から連なる山々に囲まれ、天塩川支流の豊富な水と肥沃な大地によって豊かな自然環境に恵まれている。本事業においては、士別市、名寄市の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・工事実施前に猛禽類の営巣確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が大きい3月から8月において営巣地から半径500mの範囲での工事を回避する。
- ・排水路の構造を土水路河床にすることにより、魚類の産卵環境に配慮する。また、自然繊維シートを用いることで飛沫種子の捕足と定着を促し、在来植生の回復を図る。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 景観への配慮

- ・排水路法面に自然繊維シートを施工し、現況植生の早期回復を行い、農村景観との調和を図る。